

## 令和5年度アクションプラン事業別進捗表

## &lt;重点プロジェクト&gt;

地域の稼ぐ力を高める観光地域づくりと滞在交流型観光プログラムの造成及び磨き上げを図り、持続可能な観光の国際基準（GSTC）※基準を活用しながら、釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大を推進し、サステナブルツーリズムの実現を目指すため、新たに2つの重点プロジェクトを策定しました。 ※GSTC…Global Sustainable Tourism Council

## (1 稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進)

## ①DMOを中心とした観光地域づくりの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	地域おこし協力隊事業	釜石市商工観光課	内閣府の「地域おこし協力隊」制度を活用し、観光地域づくりを推進するための人材確保及び育成を図る	令和3年度～ 令和5年度の採用に向け募集を実施。観光連携コーディネータとして1名採用した。 令和6年度は新たに「ジオパーク推進員」の採用に向けて引き続き募集を行う。 ・新規採用人数 1人
2	サステナブルツーリズム構想推進事業（観光地域整備計画策定事業）	釜石市商工観光課・(株)かまいしDMC	持続可能な観光地域プログラムの開発事業、観光地域整備計画策定事業などの実施により、観光ニーズの的確な把握や伝統文化、歴史景観など様々な観光資源を組み合わせた一体的なブランドづくり、効果的な情報発信、プロモーションの展開などを行う。	令和3年度～ 観光を着実に推進していくため、市内各地区のエリアコンセプトを設定しており、令和5年度は五葉山・唐丹エリアを対象としたエリア・コンセプトを作成した。観光地域プログラムの開発では、唐丹湾で畜養しているウニを活用した海洋環境変化を考えるプログラムや、東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターと連携し、ビーチクリーンも併せた漂着物調査プログラムなど、「学び」をテーマとしたプログラムを造成した。 ・釜石市地域資源目録－五葉山・唐丹エリア編－ 作成（資料4） ・令和5年度新規体験プログラム造成数 5

## ②観光イベントの開催と誘客促進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	四季彩イベント開催事業	(一社)釜石観光物産協会、釜石市商工観光課	春まつり、釜石納涼花火、まんぶくフェスティバル、釜石まつりなど既存イベントのブラッシュアップを図りながら、SL銀河や三陸鉄道などの公共交通機関と連携した広域的なイベントを開催し、市内外からの誘客促進を図る。	継続 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、釜石よいさが鶴住居復興スタジアムにて開催されたことに加え、春まつり、納涼花火2023、まんぶくフェス、釜石まつりを開催した。今年度も引き続き、釜石納涼花火、釜石よいさ、まんぶくフェス、釜石まつりを開催する予定である。また、4月には、3年に1度の釜石さくら祭りが4月28日（日）に開催され、5月4日（土）に春まつりを開催した。 ・春まつり(5/3、5/4) 来場者数 4,500人 ・釜石納涼花火2023(8/11) 来場者数 13,000人 ・まんぶくフェス(9/16、9/17) 来場者数 6,500人 ・釜石よいさ(9/23) 来場者数 4,300人 ・釜石まつり(10/14、10/15) 来場者数 6,000人
2	「釜石虎舞」全国発信事業	釜石市商工観光課・(一社)釜石観光物産協会	釜石の郷土芸能である「釜石虎舞」をPRし、県外団体の虎舞を誘致することで、にぎわいの創出、郷土芸能の継承及び後継者の育成を図る。	継続 「第13回全国虎舞フェスティバル」を令和6年2月25日（日）に開催。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、県外団体の「平磯芸能保存会（気仙沼市）」に出演いただいた他、大槌町の「向川原虎舞」、市内9団体の出演により賑わいの創出を図ることができた。 ・第13回全国虎舞フェスティバル(2/25) 来場者数1,100人
3	軽トラ市	釜石市水産農林課・(一社)釜石観光物産協会	釜石産農産物の販売を中心とした「かまいし軽トラ市」を市街中心部で定期的に開催することで生産者の所得増と地産地消の推進を図る。	継続 市民ホールTETTO前広場で3回、うのすまい・トモス前広場で1回、鶴住居復興スタジアムで1回、合計5回開催した。 令和6年度においても引き続き、農林水産業の高齢化や担い手不足などの課題解決を目指し、販売機会を設定することで販路拡大や担い手の確保・育成を推進するとともに、復興公営住宅等の多い市中心部で定期的な開催を行うことで、消費者と農林水産業者との交流の機会の創出、買い物の利便性の向上や賑わいの創出を図る。 ・実施日及び来場者数 (7/16) 323人、(8/20) 262人、(9/16-17) 6,500人、(10/22) 444人、(11/19) 385人

③地域ブランドの創出と物産振興

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	ふるさと便お届け事業	釜石市商工観光課	個人からの寄付に対し地場産品をふるさと便としてお届けし応援への謝意を表し、リピーターの獲得及び寄付者の増加を図るとともに、特産品の掘起こしによる六次産業化も促進し、当市の魅力を全国に発信するもの。	継続 令和5年度は2つのポータルサイト(マイナビ・ふるなび)の追加やワンストップ特例申請書類の料金受取人払い、オンラインワンストップ特例申請受付を導入するなど、寄附者サービスの向上に努め、目標額である8億円を達成することができた。令和6年度は、ふるさと納税サイトの見直しや返礼品の充実に取り組み、寄附額の増加を目指す。 令和4年度寄附額：781,961,047円 令和5年度寄附額：883,808,100円 令和6年度寄附額(目標値)：900,000,000円

④観光資源を活用した滞在交流型観光の創出

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	オープン・フィールド・ミュージアム事業	釜石市商工観光課・(株)かまいしDMC	自然資源、文化資源など既存の観光施設に加え、新たに整備した観光施設に見直しを加えながら、観光資源のネットワーク化を図っていくとともに多様な体験プログラムの提供、他産業や地域住民と一体となって旅行者を受け入れる「観光地域づくり」に取り組む、持続可能な滞在交流型観光を推進していく。	継続 令和5年度は、釜石ならではの体験を通じて学びを得られるラーニングワーケーションを引き続き推進したほか、地域課題を来訪企業と考え、解決に向けて取り組む地域課題解決型ワーケーションに取り組んだ。また、7/15～11/5に「Meetupkamaishi2023」を開催し、地域住民を講師として多様な体験プログラムの提供を行った。令和6年度もワーケーションに対応したプログラムの造成を図るとともに観光資源を活用した体験プログラムの造成を行っていく。 ・ワーケーション受入人数 330人 ・Meetupkamaishi2023 プログラム数：23、参加者数：396人
2	橋野鉄鉱山周辺事業	釜石市世界遺産課	世界遺産関連施設の適切な管理運営を行うための調査を行うほか見学会や体験会を実施することで橋野鉄鉱山及びその周辺への誘客を図る。	継続 橋野高炉跡の発掘調査や石垣の修復に関わる石垣微動調査などを実施し、施設の維持管理に務めた。また、橋野鉄鉱山見学会や発掘調査の公開など誘客を促進するための事業を実施。今後も適切な施設の維持管理に努め、誘客につなげる。 ・橋野高炉史跡整備事業(発掘調査、探掘場の測量)実施 調査現地説明会(9/30(土))29人 速報展(9/30～12/8)2092人 ・石垣の修復(2か所) 水路石垣・長屋跡石垣 ・みんなの橋野鉄鉱山(6/3(土)) 参加者23人 ・橋野鉄鉱山見学会(11/3(土)) 参加者12人

(2 釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大

①サステナブルツーリズムとインバウンドの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	サステナブルツーリズム構想推進事業 (観光指標モニタリング調査事業)	釜石市商工観光課・ (株)かまいしDMC	持続可能な観光地域づくりを推進するため、各種アンケートの実施及び分析を行うほか持続可能な観光の国際認証の取得及びその評価を分析し、サステナブルツーリズム構想推進事業に取り入れることと、持続可能な観光を推進していくとともに、国際認証の取得により観光価値を高め、外国人旅行者も安心して滞在できる環境整備を図っていく。	令和3年度～  令和5年度では観光客入込調査を実施したほか、市内事業者に対し持続可能な観光に関するアンケート調査を行った。また、持続可能な観光に関する国際認証機関の一つであるグリーンDESTINATIONSの認証審査において日本初となるゴールド賞を受賞した。今後はこの評価の分析を行い、さらにサステナブルツーリズムの推進を図っていく。 ・「世界持続可能な観光地TOP100選」選出 ・観光入込調査の実施（春季・秋季） ・市内観光関連事業者向けアンケート調査の実施 ※調査結果は別資料参照

②ラグビーを核にしたスポーツツーリズムの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	スポーツ合宿誘致推進事業	釜石市スポーツ推進課	鵜住居地域にあるスポーツ施設を拠点にスポーツ合宿や大規模イベント等の開催をするとともに、地域全体で来訪者をもてなす体制を構築するなど、ラグビーのまちである当市の特徴を生かしたスポーツツーリズムの推進により交流人口の拡大や賑わいの創出を図る。	令和3年度～  鵜住居復興スタジアム、市民体育館、釜石市球技場及び根浜海岸観光施設多目的広場を使用した合宿を誘致。市内に宿泊してもらうことで、合宿と併せて震災学習を体験やスポーツを通じた交流を促進した。今後も継続して誘致を図っていく。 ・合宿参加団体38団体 参加者数1,270人※R5年度

<その他主要事業>

観光振興ビジョンを推進し、観光地域づくりと観光を通じた震災復興を実現するための主要な事業を、以下に掲げます。

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	鉄づくり体験事業	釜石市文化振興課	鉄づくり体験やふるさと歴史講座、鉄の検定を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。	継続 令和5年度からは市内全中学校で鉄づくり体験を実施する体制が整い、釜石独自の郷土学習として確立した。また、市民を対象に鉄の検定を実施し、釜石の鉄に関する知識を養う機会の創出を図っている。鉄づくり体験事業は釜石の鉄の魅力を伝える人材育成の一環として、継続して取り組んでいく。 ・鉄づくり体験 7月～9月実施 参加者172人 ・鉄の検定 12月1日 参加者106人（小中学生98人、一般8人）
2	歴史はっけん事業	釜石市文化振興課	地域に残る歴史・文化財の掘り起しを行い保存活用を図る。	継続 釜石市文化財保存活用地域計画を作成し、令和6年7月に文化庁の認定を受けるため協議会を開催した。また、市内の古文書調査とそのデジタル化、おさんぼアプリを使用した史跡巡りモデルコース作成等を行い、文化財の保存と活用を進めた。今後も釜石市の歴史文化の掘り起しと継承に努める。 ・釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催（年5回） ・古文書調査：通年 ・おさんぼアプリ用モデルコース作成（通年）
3	三陸ジオパーク推進事業	釜石市商工観光課・三陸ジオパーク推進協議会ほか	「悠久の大地と海と共に生きる」をテーマとし、復興の進捗で三陸沿岸地域内での交流を活発化し、地域外との交流人口拡大を目標として掲げ、この活動が新たな「人のつながり」を作り出し、復興後の「ひとつの三陸」の実現を目指すもの。	継続 令和5年度は、4年に1度の再認定審査に係る対応を行った他、世界遺産課、文化振興課、かまいしDMC、観光物産協会、釜石ガイド会と連携協力し、教育、イベント、PRなどのプログラムを実施した。今年度は、昨年度の再認定審査で指摘された項目に対するアクションプランに基づき、引き続き三陸ジオパーク推進協議会をはじめとする関係団体との連携により、当市サイトの保護・保全活動、サイトと地域資源を組み合わせたイベントや体験プログラムの提供を通じて、認知度の向上及び交流人口の拡大に努めていく。 ・根浜海岸清掃活動（7/8） 参加者数：40人 ・海開きに係る三陸ジオパークブースの設置（7/13～14） 参加者数：20人 ・根浜海岸シーカヤック等体験プログラム（7月～11月） 参加者数：49人 ・「釜石ふしぎ発見～化石発掘?ジオの魅力大調査」（8/5） 参加者数：10人 ・ジオサイトめぐり（10/3） 参加者数：15人 ・三陸ジオパーク構成市町村長ジオツアー（南部エリア）（7/27） 参加者数：35人 ・観光ガイド養成研修（3/2、9、16、23） 参加者数：32人 ・ジオトレイル関係者研修交流会（3/22） 参加者数：20人
4	民泊推進モデル事業	釜石市商工観光課	農漁業体験を含む民泊事業の受入態勢を強化するためコミュニティホスト事業等をモデル的に実施し横展開を図る。	継続 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことによる規制緩和に加え、「御箱崎の宿」を中心としたツアー造成等により宿泊者が増加した。令和6年度は誘客促進を図るため、PRを強化していく。 ・宿泊者数（令和4年度） 202人 ・宿泊者数（令和5年度） 272人
5	根浜海岸海遊び事業	釜石市商工観光課	震災により途絶えていた根浜海岸海水浴場の海開きを復活し地域との連携による新規イベントを実施することで、誘客を図る。	継続 海開きに合わせ、水上バイク体験乗船やシュノーケリング、SUPなどの様々な体験ができる「根浜海岸海遊び」を実施した。今年度も根浜海岸海水浴場の開設に併せてイベントを実施し、根浜海岸及び観光施設への誘客と賑わい創出を図る。 ・根浜海岸海遊び（7/15～16） 参加者数：延べ300人
6	釜石線沿線等活性化推進事業	釜石線沿線広域エリア活性化委員会	JR釜石線及び全通する東北横断自動車道釜石秋田線を活用した観光商品の企画及び沿線都市・観光地域との連携事業を推進。	継続 SL銀河が令和5年6月で終了した。最終日はSL銀河の運行に併せて到着時に釜石虎舞でのお出迎えやかまリンや大漁旗による出発時のお見送りを実施し、交流人口の拡大と観光客の誘客を図った。12月に新たな観光列車「陽旅～ひなび～」の運行が開始されたことから、令和6年度はJR東日本と連携して「陽旅～ひなび～」を活用した新たな誘客を図る企画や観光PR事業を図っていく。 ・SL銀河送迎おもてなし（3月～6月） ・観光列車「陽旅～ひなび～」（12月～運行中）